

件名：令和6年能登半島地震に関する志賀原子力発電所の点検状況等に係る面談

日時：令和6年1月9日（火）9：30～10：20

場所：原子力規制庁3階会議スペース

出席者：

原子力規制庁長官官房総務課 事故対処室

山口室長、木原室長補佐

原子力規制部検査グループ 実用炉監視部門（テレビ会議システムによる出席）

杉本管理官、村田統括監視指導官、菊川管理官補佐、小野上級原子炉解析専門官、

宮坂原子力運転検査官、伊藤原子力運転検査官補、大山原子力運転検査官補

北陸電力株式会社（以下、「北陸電力」という）

原子力部 副部長 他1名

東京支社 原子力・技術チーム 担当者1名

志賀原子力発電所 発電部 担当者1名（テレビ会議システムによる出席）

要旨：

- 北陸電力から志賀原子力発電所における令和6年能登半島地震に対する電源確保の戦略及び使用済燃料プールの冷却戦略並びに外部電源の被害状況に関して、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁から単線結線図を基にした現在の受電状態及び電源確保にあたっての対応の優先順位の考え方を確認するとともに、外部電源の被害状況に対する対応方針・補修方針の確認を行った。
- 北陸電力から今回の外部電源の被害状況も含めて、令和6年能登半島地震による志賀原子力発電所の影響については、発電所構内の巡視点検等で確認された事象とその対応状況を現況として取りまとめて、準備出来次第、公表する予定との説明があった。

配付資料：

- 志賀原子力発電所に係る戦略検討
- 志賀原子力発電所 外部電源被害状況